

“楽しく学び、委員活動に活かす” それが第一合同のモットー

今回、民生・児童委員第一合同の秋の研修に同行してきました。研修先の東京消防庁都民防災教育センター「本所防災館」は、防災に関する知識や技術を学べる体験施設です。今回、防災体験ツアーの自然災害コースで「地震」「煙」「暴風雨」「都市型災害」を体験しました。

どの体験も災害の怖さを実感できる内容でした。特に最近多い「都市型水害」の体験は、わずか10cmの水が溜まっただけでもドアを開けることが困難でした。

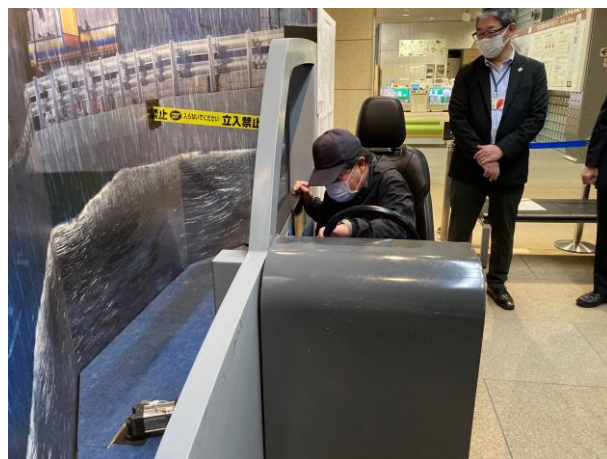
体験した委員さんは「想像以上にドアが重く、改めて水の怖さを感じた」と話されていました。



震度7の揺れを体験。揺れは非常に強く、長く感じました。体験時は、後頭部に手を当て、しゃがみ込む「ダンゴムシのポーズ」をとりました。



雨合羽、長靴を借りて体験した暴風雨。何かにつかまらなるととても立っていただけませんでした。豪雨の時は、不要な外出は避けたいですね。



車が浸水すると水圧でドアが開かなくなります。下川委員も果敢に挑戦！車には必ず緊急用ハンマーを備えておきたいですね。

取材日：令和5年10月27日 参加者数：55名

取材メモ：防災の知識を体験して学ぶことができる素晴らしい視察研修でした。

(足立社協 千住地区担当)

問合せ先：地域福祉課 ☎6807-2460 FAX5681-3374